平成25年12月期第2四半期
決算説明会
ご参考資料

平成25年 8月22日

大倉工業株式会社

OKURA 真心を包み、幸せを守り、技術を進化させる ──

平成２５年１２月期

第２四半期決算説明会

平成２５年８月２２日

大倉工業株式会社

目　次

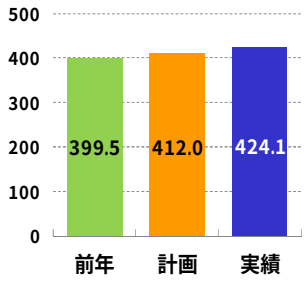
１．第２四半期決算の概要

２．通期の業績予想

１．第２四半期決算の概要

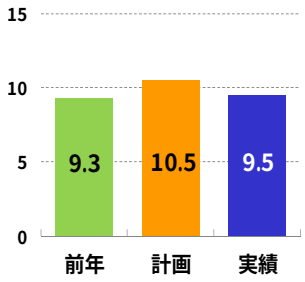
第２四半期連結累計期間

【売上高】 (億円)



前年比 ＋6.2%
計画比 ＋2.9%

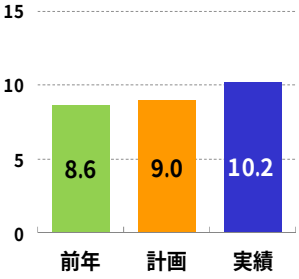
【営業利益】 (億円)



前年比 ＋2.1%
計画比 ▲8.7%

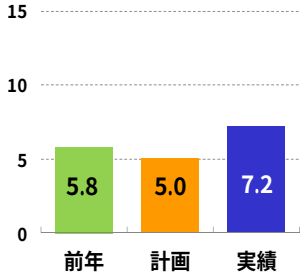
第２四半期連結累計期間

【経常利益】 (億円)



前年比 ＋19.4%
計画比 ＋14.2%

【四半期純利益】 (億円)



前年比 ＋23.8%
計画比 ＋44.0%

第２四半期連結累計期間

(億円)

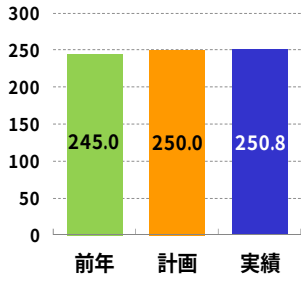
	H25上期	前年比
売上高	424.1	＋6.2%
営業利益	9.5	＋2.1%
経常利益	10.2	＋19.4%
四半期純利益	7.2	＋23.8%

営業利益は、円安に伴う原材料価格の上昇や
製品単価の下落などの影響があったものの、
円安の急速な進行による為替差益等によって、
経常利益･四半期純利益が持ち上げられた。

セグメント別の概要

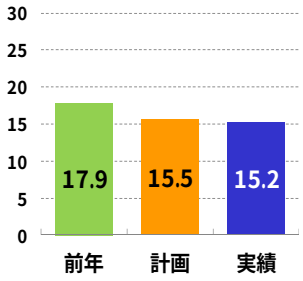
合成樹脂事業セグメント 第２四半期連結累計期間

【売上高】 (億円)



前年比 ＋2.4%
計画比 ＋0.3%

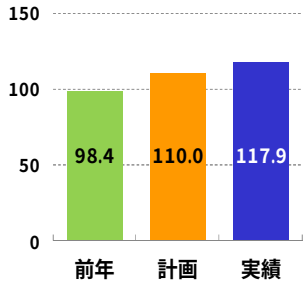
【営業利益】 (億円)



前年比 ▲15.3%
計画比 ▲1.9%

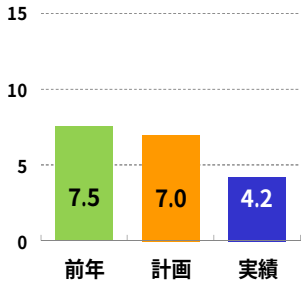
新規材料事業セグメント 第２四半期連結累計期間

【売上高】 (億円)



前年比 ＋19.8%
計画比 ＋7.3%

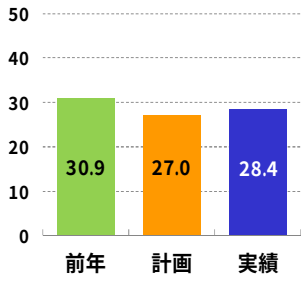
【営業利益】 (億円)



前年比 ▲43.3%
計画比 ▲39.0%

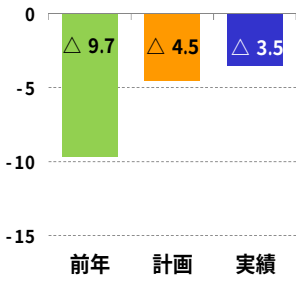
建材事業セグメント　第２四半期連結累計期間

【売上高】（億円）



前年比　▲8.3％
計画比　＋5.3％

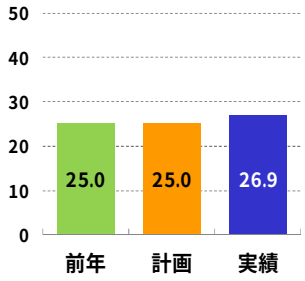
【営業利益】（億円）



前年比　6.1億円改善
計画比　0.9億円改善

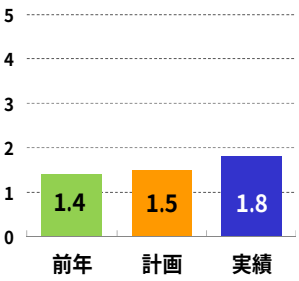
その他セグメント　第２四半期連結累計期間

【売上高】（億円）



前年比　＋7.5％
計画比　＋7.7％

【営業利益】（億円）



前年比　＋31.1％
計画比　＋23.7％

キャッシュ・フロー

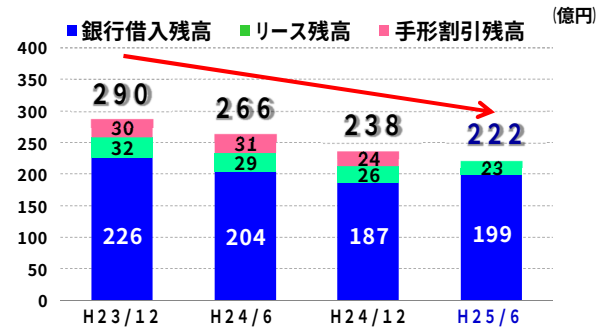
連結キャッシュ･フロー計算書

(億円)

	H24上期	H25上期
現金及び現金同等物期首残高	77.4	74.0
営業活動によるキャッシュ･フロー	47.6	12.8
投資活動によるキャッシュ･フロー	▲27.5	▲21.1
財務活動によるキャッシュ･フロー	▲28.0	4.1
現金及び現金同等物期末残高	69.7	70.4

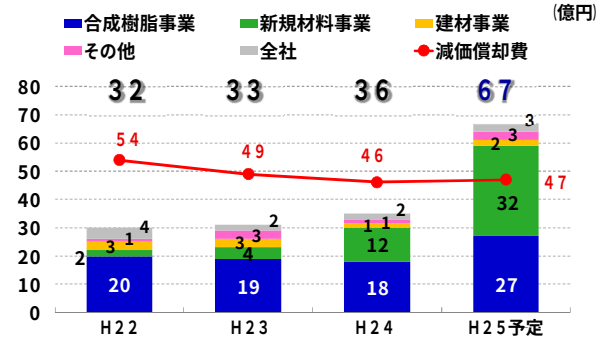
営業キャッシュ･フローが大幅に悪化した要因は
手形割引中止による売上債権の増加(24億円)

実質借入金残高(連結)



実質借入金は着実に減少傾向
(手形割引を中止したため、短期借入が増加)

連結減価償却費及び設備投資 (工事ベース)



H25年は新工場建設(約30億円)により大きく増加

2．通期の業績予想

通期業績予想

マクロ見通し

日本経済は円安・株高、復興需要、個人消費、消費税増税の駆け込み需要などにより緩やかに回復に向かう。

売上高

新規材料は前年を下回るものの建材の回復もあり、全体ではほぼ前年並みとなる。

営業利益

円安に伴う原料価格の上昇や電力料値上げ等による減益要因を建材の損益改善で補う。

通期業績予想

(億円)

	前期実績	通期予想	前年比
売　上　高	859	858	▲0.1%
営 業 利 益	25.1	30.5	＋21.2%
経 常 利 益	23.8	27.5	＋15.1%
当期純利益	15.7	23.0	＋45.8%

通期業績予想　売上高

（億円）

	前期実績	通期予想	前年比
合成樹脂事業	494	510	＋3.1%
新規材料事業	255	235	▲8.0%
建材事業	57	60	＋3.9%
その他	51	53	＋3.0%
合計	859	858	▲0.1%

通期業績予想　営業利益

（億円）

	前期実績	通期予想	前年比
合成樹脂事業	34.6	35.5	＋2.4%
新規材料事業	17.9	16.5	▲8.3%
建材事業	▲15.1	▲6.5	ー
その他	3.2	3.0	▲8.9%
調整額	▲15.6	▲18.0	ー
合計	25.1	30.5	＋21.2%

第4次中計の目指す姿

「社会から信頼される企業」
であり続ける

成長分野にソリューションを提供できる
「技術優位な企業集団」

第４次中計の基本方針

全社戦略は

国内市場は「量」・海外市場は「質」

重点課題

①建材事業部の黒字達成　②ｽﾃｰｸﾎﾙﾀﾞｰからの信頼回復

③現場力や労働生産性の向上　④要素技術の深化と獲得

収益基盤の安定強化

「量」の拡大を目指して

【関西オークラ新工場建設】

食品ユーザーの要求に応えられる衛生環境を備える

量の拡大を狙う汎用製品にも継続投資

投資額：１７億円

スケジュール：

Ｈ２５年８月着工、

Ｈ２６年４月生産開始

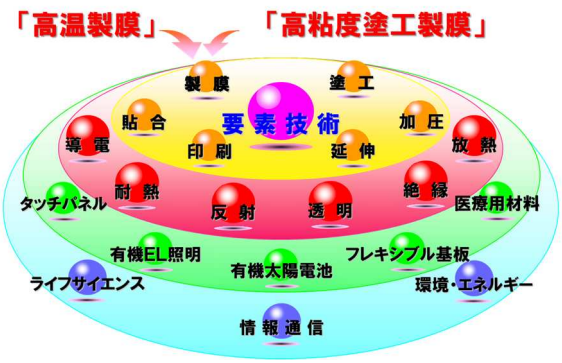


合成樹脂事業

関西オークラ新工場建設地［関西オークラ内（斜線部分）］

「質」の追求を目指して

【要素技術の深化と獲得】



「質」の追求を目指して

【新規材料事業部　仲南Ｇ棟】

タッチパネル市場に向けた位相差補償フィルム等の新しい生産技術に対応した工場

投資額：６３億円
　Ⅰ期：３３、Ⅱ期：３０億円
スケジュール：
Ⅰ期　Ｈ２５年２月着工、
　　Ｈ２６年１月生産開始
Ⅱ期　Ｈ２６年２月着工、
　　Ｈ２７年３月生産開始



新規材料事業
新工場建設地［仲南工場内（斜線部分）］

業績予想・事業計画に関する注意事項

本資料に掲載されている業績予想・事業計画は、当社が現時点で入手可能な情報及び種々の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等の結果は、今後生ずる様々な要因によって、予想・計画とは異なる場合がございます。